

アンケート項目 全設問

項目	施工会社		設計会社			
	市外	市内	市外	市内		
【冒頭文】	岐阜薬科大学は、本部キャンパス研究室内の狭隘化解消、新カリキュラムで必要となる少人数教室等の整備、三田洞キャンパスの老朽化等に対応するため、キャンパスを整備・統合するための基本計画を策定し、「岐阜薬科大学新キャンパス整備事業」（以下、「本事業」といいます。）に着手しました。 現在は、基本設計を実施しており、今後は実施設計と施工を一括して発注する設計施工一括方式（以下、「D B方式」といいます。）にて事業を進める予定です。 今後、本事業を円滑かつ確実に進めるとともに地元企業の活用など、地域の活性化に資する事業となるよう、設計または施工会社の皆様へアンケートを実施し、その結果も踏まえ、本事業の発注に係る公募条件等を検討することとしました。 つきましては、この目的をご理解の上、以下の項目の回答にご協力くださいますようお願いいたします。 ※アンケートは上記の目的のために実施するもので、個別の回答内容を公表または、第三者へ提供することはありません。 また、回答の有無や内容が、本事業の受注に影響を及ぼすこともありません。 ※アンケート回答等に係る費用は、参加者の負担となります。 ※アンケートは、本事業に係る「要求水準書等作成及び事業者選定支援業務」を委託している『明豊ファシリティアークス株式会社』とともに実施します。					
【事業概要】	事業名	岐阜薬科大学新キャンパス整備事業				
	事業内容	現況、農地や雑種地となっている整備予定地を造成し、校舎棟及び体育館棟を建設する。 発注方式は、D B方式を予定している。				
	建設場所	岐阜市大学西1丁目地内				
	敷地面積	約19,300㎡				
	建設規模（基本計画）	校舎棟	：4階建て 延床面積 約15,000㎡			
		体育館棟	：3階建て 延床面積 約5,000㎡			
	想定事業費（基本計画）	約105億円				
		約6億円	設計費			
		約90億円	本体建設費（校舎、体育館等）			
		約9億円	用地買収、移転補償、敷地造成、道路移設等			
	事業範囲	実施設計、建設工事（建築、電気、衛生、空調）、外構工事、造成工事、道路工事 ※造成工事の実施設計は実施済 ※都市計画法第37条に基づく建築制限解除を行い、建設工事を行う予定 ※D B事業範囲は、実施設計、建設工事、造成工事とし、 D B事業範囲外は、道路工事、外構工事として現在検討中				
	事業年度（予定）	令和5～6年度	基本設計、要求水準書等作成			
		令和7年度	D B事業者選定			
		令和7～10年度	D B事業実施			
★以下のアンケート項目につきまして、上記の事業概要を踏まえてご回答ください。						
はじめにご記入をお願いします。	1.事業者名					
	2.事業概要					
	本社所在地	☐ 岐阜市内 ☐ 岐阜市外				
	従業員数	() 人				
	3.ご担当者					
	氏名					
	部署					
	電話番号					
	E-mail					
	4.業種	☐ 施工会社	☐ 設計会社			
		※業種により、設問の項目が異なります				
	5.本市への事業者登録状況	☐ 登録済み ☐ 未登録				

1 昨今の建設業界の状況等について	最近の建設プロジェクトにおいて、懸案となっているものがあればご教示ください。（より懸念されるものを3つまで選択可）	同左	同左	同左
	ア 物価高騰 イ 労務不足・高齢化 ウ 技術者（職員・社員）不足 エ 2024年問題（工期など） オ 業務逼迫 カ 事業の大規模化・複雑化 キ 下請事業者（サブコンなど）の協力 ク その他（ ）	同左	同左	同左
2 本事業を円滑かつ確実に進めるための発注区分・D B事業範囲の設定について	D B方式の範囲に造成工事を含める場合について、お答えください。	同左	同左	同左
	ア 仮設工事の効率化など有効と思われる イ 土の移動等を効率的に行えるため有効と思われる ウ 実施設計と並行して造成工事を行えるため有効と思われる エ 有効ではなく、別途工事とすることが望ましい	同左	同左	同左
	上記のほか、建設工事と造成工事を一体で発注することについて、メリットもしくはデメリットと思われる点があれば、ご教示ください。 （ ）	同左	同左	同左
	D B方式の範囲に外構工事を含める場合について、お答えください。	同左	同左	同左
	ア 工程調整を行いやすいため有効と思われる イ 仮設ヤード等の調整を行いやすいため有効と思われる ウ 建設工事と外構工事で職員や作業員を効率的に配置できるため有効と思われる エ 動線計画など建物と外構を複合的に考えて設計を行うことが可能で有効と思われる オ 有効ではなく、別途工事とすることが望ましい	同左	同左	同左
	上記のほか、建設工事と外構工事を一体で発注することについて、メリットもしくはデメリットと思われる点があれば、ご教示ください。 （ ）	同左	同左	同左
	D B方式の範囲に道路工事を含める場合について、お答えください。	同左	同左	同左
	ア 工程調整を行いやすいため有効と思われる イ 仮設ヤード等の調整を行いやすいため有効と思われる ウ 建設工事と道路工事で職員や作業員を効率的に配置できるため有効と思われる エ 有効ではなく、別途工事とすることが望ましい	同左	同左	同左
	上記のほか、建設工事と道路工事を一体で発注することについて、メリットもしくはデメリットと思われる点があれば、ご教示ください。 （ ）	同左	同左	同左

3 本事業における地域貢献策について	地域経済への貢献策として実施可能な手法を選択してください。（上位から3つまで選択可） ア 市内事業者とのＪＶ組成 イ 市内事業者への下請発注 ウ 市内事業者からの資材購入 エ 県産材の採用 オ 市内事業者からの物品調達（事務用品、飲食ほか） カ 一部の工事を分離発注化 キ その他（ ）	同左	同左	同左
	本事業での市内の建設事業者の活用について、考えられる手法があればご教示ください。 ア 市内事業者とのＪＶ組成 イ 市内事業者への下請発注 ウ 造成工事をＤＢ範囲外とし、別途工事発注とする エ 外構工事は実施設計までをＤＢ範囲とし、施工をＤＢ範囲外とし、別途工事発注とする	同左	同左	同左
4 本事業への参加について	本事業の事業概要を踏まえた上で、本事業に参加したいと思われませんか。 ア 参加したい イ 条件次第で参加したい ウ 参加したいと思わない	同左	同左	同左
	参加を検討する際に重視する条件を選択してください。（上位から3つまで選択可） ア 計画地 イ 施設規模 ウ 施設用途 エ 発注時期・業務期間 オ 業務範囲 カ 発注金額 キ 選定方式（総合評価、プロポーザルなど） ク 評価基準	同左	同左	同左
	本事業で想定される実施設計担当者の繁忙度等について、ご教示ください。 ア 自社の繁忙度が高い イ 自社周辺（協力企業等）の繁忙度が高い ウ ア及びイ エ 特に繁忙度は高くない想定	同左	同左	同左
	本事業で想定される施工期間における、貴社及び貴社の周辺における施工担当者の繁忙度等について、ご教示ください。 ア 自社の繁忙度が高い イ 自社周辺の繁忙度が高い ウ ア及びイ エ 特に繁忙度は高くない想定	同左		
5 参加形態	参加形態の想定を選択してください。 ア 単独 イ 他の施工会社とのＪＶ ウ 設計会社とのＪＶ エ イ及びウ オ その他（ ）	同左	同左 ア 施工会社とのＪＶ イ 複数の施工会社とのＪＶ ウ その他（ ）	同左

6 実績の有無	D B方式での実績について選択してください。 ア 基本設計からのD B方式 に実績がある イ 実施設計からのD B方式 に実績がある ウ D B方式の実績は無い エ その他（ ）	同左 同左	同左 同左	同左 同左
	前の設問でアまたはイと回答された 場合、支障のない範囲で過去10 年以内の実績で以下について最 大5件までご回答ください。なお、大 学用途での実績を優先的にご回 答ください。 発注区分：公共／民間 発注方式：基本設計から ／実施設計から 施設用途： 業務期間： 年 月～ 年 月 施設規模：約 m ² 参加形態：単独／施工JV ／設計JV	同左 同左	同左 同左	同左 同左
	発注区分：公共／民間 発注方式：基本設計から ／実施設計から 施設用途： 業務期間： 年 月～ 年 月 施設規模：約 m ² 参加形態：単独／施工JV ／設計JV	同左	同左	同左
	発注区分：公共／民間 発注方式：基本設計から ／実施設計から 施設用途： 業務期間： 年 月～ 年 月 施設規模：約 m ² 参加形態：単独／施工JV ／設計JV	同左	同左	同左
	発注区分：公共／民間 発注方式：基本設計から ／実施設計から 施設用途： 業務期間： 年 月～ 年 月 施設規模：約 m ² 参加形態：単独／施工JV ／設計JV	同左	同左	同左
	発注区分：公共／民間 発注方式：基本設計から ／実施設計から 施設用途： 業務期間： 年 月～ 年 月 施設規模：約 m ² 参加形態：単独／施工JV ／設計JV	同左	同左	同左

7 公募条件に関する意見	D B 発注における選定方式について、望ましい方式を以下よりご回答ください。 ア 総合評価落札方式 イ 技術提案・交渉方式 ウ プロポーザル方式	同左	同左	同左
	D B 発注における参加要件に「市内事業者との J V」を含めた場合、本事業に参加したいと思われますか。 ア 参加したい イ 条件次第で参加したい ウ 参加したいと思わない	同左 ア 代表構成員で参加したい イ 構成員で参加したい ウ 条件次第で参加したい エ 参加したいと思わない	同左 ア 参加したい イ 条件次第で参加したい ウ 参加したいと思わない	同左 同左
	D B 発注における評価項目について、望ましいものを以下より選択してください。（上位から3つまで） ア 企業の実績 イ 技術者の実績 ウ 見積金額／提案金額 エ 業務実施体制 オ 技術提案 カ 地域貢献	同左 同左	同左 同左	同左 同左
	D B 発注での技術提案における基本設計の扱いについて、望ましいものを以下より選択してください。 ア 基本設計からの変更を許容せず、技術提案に設計提案を含めない イ 基本設計からの部分的な変更を許容し、技術提案に設計提案を含める ウ より効果的な技術提案を行えるよう、基本設計からの変更をなるべく許容することが望ましい	同左 同左	同左 同左	同左 同左

8 選定（提案）期間等に関する意見 （参考にお聞かせください）	公告から技術提案書及び見積書の提出期間を3.5か月程度と想定しています。仮に技術提案の内容を下記のa～eとした場合において、この期間に関するご意見をご回答ください。 a.業務取組方針 b.業務実施体制表 c.全体スケジュール d.施工計画（安全・環境） e.技術提案 合計でA3x4枚程度	同左	同左	同左
	A 適切／妥当 イ 短い ウ 長い エ その他（ ）	同左	同左	同左
	選定にあたり、技術提案書及び見積書をご提出いただく前に、技術提案内容及びVE提案に係る技術対話を実施することを検討しています。技術対話を行うことについて、より良い技術提案を提示するために有効と考えられるでしょうか。	同左	同左	同左
	A 事前に対話をを行い採否を確認できるので有効 イ 事前に対話を行うことに有効性は感じない ウ その他（ ）	同左	同左	同左
	昨今、物価高騰等が問題となっていますが、現在の基本設計内容において、開示した資料にて想定される建設費（面積単価）の目安をご教示ください。	同左	同左	同左
	【校舎棟】 （ ）～（ ）万円/m ² 【体育館棟】 （ ）～（ ）万円/m ²	同左	同左	同左
9 おわりに	上記ご回答いただいた金額について、可能な範囲で根拠・事例等をご教示ください。（例：○か月前、学校用途、○○○m ² の建物で、およそ○○万円/m ² だった、等）	同左	同左	同左
	【校舎棟】 （ ） 【体育館棟】 （ ）	同左	同左	同左
	今回はW E Bアンケートにご協力いただき有難うございました。アンケートにてご回答いただいた内容等につきまして、対面での意見交換なども検討しておりますが、実施する場合、貴社は対面もしくはW E B会議での意見交換を希望されますでしょうか。	同左	同左	同左
	A 希望する イ 希望しない	同左	同左	同左
	その他、本事業に関してご意見等があれば、ご自由に記載してください。	同左	同左	同左
	（ ）	同左	同左	同左
	以上			